

ふるさと薬膳メニュー（長崎県西海町） 地場産の食材を使って目的別の 薬膳メニューを開発

問い合わせ先 /
西海町ツーリズム協会
電話0959-37-4933
ホームページURL
http://www.saikaicho.net

長崎県西海町は、長崎県のほぼ中央部に位置する人口八千人の町です。県都長崎市からは車で一時間程度、針尾瀬戸をまたぎする西海橋の完成により、県下第二の都市である佐世保市から車で三十分、福岡市からでも二時間程度でアクセスできるようになりました。このため佐世保市、長崎市、福岡市等を商圏とする日帰りもしくは一泊程度の観光地として、事業化の検討が始まりました。

「レストラン」

当初はフランス料理レストランを計画したものの、シェフが見つからずに断念

西海町ではグリーンツーリズムを町おこしの起爆剤の一つと位置付け、平成十年度に「グリーンツーリズムモデル構想」を策定、みかんやびわなどの果実の採取とそれを材料としたジャム作り、田植えから稲刈りに至る米作り等体験メニューの設定、伊佐の浦コテージをはじめとす

る自然体験型宿泊施設の整備等を進めてきました。ところがこういった施設を訪れる観光客に食事を提供する施設がなかったため、町ではフランス料理のレストランの設置を決め、建物の建設と料理人を募集し始めました。料理人は当初、地元長崎県内、次いで九州全域で募集しましたが、応募者は一人も無く、ヒアリングの調査をしてみるとフランス料理レストランの事業化は困難という指摘を複数の料理人から受けました。ところがレストランの建物は平成十一年度に完成していたため、飲食施設の設置計画は変更せず、対象地で受け入れられるような飲食施設のコンセプトを再検討することになりました。

郷土料理を研究していた地元主婦グループに白羽の矢一人一人に頼み込んで開業にこぎつける

西海町「グリーンツーリズムモデル構想」では、九つのアク

シヨンプログラムを策定してまいりました。その中の一つに郷土料理の研究があり、「食と農を考える女性の会」十四名が、町内で生産される農作物を使った郷土料理の発掘と継承に取り組んでいました。西海町ではこれに着目し、レストランのコンセプトを「フランス料理」から「郷土料理」に変更、「食と農を考える女性の会」メンバーによって事業化を図ることとしました。ところがメンバー全員が「レストランなんてやったことがない」と担当を固辞する姿勢を崩さず、町の担当部署である経済課産業振興係の福田さんがメンバーの自宅を一軒一軒回り、協力を依頼、二月で十四名全員から参加の了解を得ました。

商品開発

他にないメニュー作りに取り組む

調理を担当するグループは決定したものの、単なる郷土料理では町外からの観光客誘致は困難であることは当初から認識していました。このため、財源地域振興センターの専門家派遣事業を活用して、「売り物になる」商品づくりに取り組みました。

具体的には、西海町で収穫される良質な野菜を使った、都市生活者の「健康志向」に積極的に対応できるメニューとして、「医食同源」の考えから薬膳料理が選ばれました。もともと西海町は野菜類、特に根菜類の栽培に適した土壌を有し、町内の農産物直売所には、長崎市や佐世保市から野菜を求めに来る消費者も見られるほどです。これらを生かし、さらに単なる郷土料理に終わらせないために、食事を提供する人の内臓の部位（腎臓、脾臓、肺、肝臓、心臓）ごとに薬効が期待できるレシピを開発する、季節ごとに旬の食材を使用する、の二点を基本方針とし、通年で二十種類のメニューを開発しました。

販売成績、初年度は収支トントン、十三年度は黒字化、十四年度には賃料支払いも視野に

こうして開発された薬膳メニューは好評で、開業初年度に当たる平成十二年度の入込み客数は八千人、客単価は平均千円強で、ほぼ当初の計画通りとなっています。建物の所有権は町にあり、現在はレストラン部分を実質的に運営している「食と農を考え

る女性の会」に無料で貸与しています。平成十四年度の客数を一万人程度を目標としており、実現すれば町に対する賃借料の支払いが可能になるものと期待されています。

対象顧客 最大の顧客は主婦グループ

現在の顧客層は、子供がある程度大きくなった四十代から六十代の女性グループが七割八割

を占め、残りが一般のファミリー客となっています。ファミリー客の場合、全員が薬膳メニューを選択するケースはあまり多くないため、客単価の点でも主婦グループの方が望ましい状況となっています。

現在はグループで来店した主婦の一人がまた新たな主婦グループを連れて来るといって、「口コミのパートナー」ができつつあります。来店客は佐世保市及び長崎市からが

ほとんどで、両市とその周辺を合わせた人口約七十万人が現在の中心的な客層範囲です。

PR活動としては、平成十三年六月に初めて、九州一円で発売される旅行専門誌に有料広告を出すことになりました。これはコテージの夏休み向け広告との抱き合わせ広告であり、商圏の拡大にとどまらず、若者グループや社員研修等、新たな顧客層の獲得にもつながるものとして期待されています。



調理を担当する「食と農を考える女性の会」メンバー

メニューの一例

「椿」(つばき - 薬効: 腎臓)

スタミナ不足を感じる、
疲れるとむくみが出る、恐ろしい夢をよく見る方に。

- ・食前酒
- ・胡麻豆腐
- ・月替わりご飯
- ・豆腐ステーキ薬膳コース
- ・旬菜のてんぷら
- ・味噌汁
- ・お刺身盛り合わせ
- ・旬菜の炊き合わせ
- ・香の物
- ・デザート



「薊」(あざみ - 薬効: 心臓)

手のひらが赤い、口内炎が起きやすい、
階段の上り下りがつらい等の症状がある方に

- ・食前酒
- ・蓮根のはさみ揚げ
- ・月替わりご飯
- ・西海豚ピリ辛炒め
- ・旬菜の和え物
- ・味噌汁
- ・お刺身盛り合わせ
- ・旬菜の炊き合わせ
- ・香の物
- ・デザート



電源過疎地域等企業立地促進 事業費補助金のご案内

問い合わせ先 /
(財)電源地域振興センター
企業立地部
電話03-5562-9750

電源地域のうち特定地域に立地し、次の要件を満たす企業に対して、当センターを通じ補助金を交付します。

補助要件

【建物】

工場・事業所等を新設または増設すること（建物の建設が前年度に完了したもの、または当該年度に完了するもの）。

【補助対象物】

生産または営業用の施設・設備であること（建物、建物付属設備、構築物、機械装置・備品等で、当該年度中に着手・完了するものが対象）。

必ず企業（申請者）が所有していること。

年一回募集があるため、着手日（当該工場・事業所等に最初に搬入据付された日）が、四月一日以降九月三十日までのものは上期案件、十月一日以降翌三月十日

までのものは下期案件とする。

【雇用】

雇用保険の一般被保険者が五人以上増加すること。

補助金交付限度額

次の三つのうち、最も低い額を交付限度額とし、その範囲内で交付額を決定します。

補助対象物の整備に要する費用の合計。

表中の地域区分および増加雇用者数ごとに設定した面積当たりの単価と、建物の床面積とを乗じて得た額。

表中の地域区分および増加雇用者ごとに設定した上限額。

その他

表中のA地域・B地域・C地域に該当する全国七百余りの対象市町村リストは、当センターに用意

しています。
募集は市町村を通じて上期・下期の年一回で、三月・八月頃に行っています。
申し込みの際には市町村の紹介

が必要となりますので、当該市町村へお問合せください。
申し込みに必要な書類は、当センターまたは市町村に用意しています。

| 地域区分 | 増加雇用者数 | 面積当たりの単価 | 上限額 |
|------|--------|--------------------------|-------|
| A地域 | 5～9人 | 7,500円 / m ² | 1億円 |
| | 10～19人 | 10,000円 / m ² | 1.5億円 |
| | 20人以上 | 12,500円 / m ² | 2億円 |
| B地域 | 5～9人 | 2,500円 / m ² | 0.5億円 |
| | 10～19人 | 3,750円 / m ² | 1億円 |
| | 20人以上 | 5,000円 / m ² | 1.5億円 |
| C地域 | 5～9人 | 1,250円 / m ² | 0.3億円 |
| | 10～19人 | 2,500円 / m ² | 0.5億円 |
| | 20人以上 | 3,750円 / m ² | 1億円 |

A地域とは、原子力地点をその区域とする市町村、およびその周辺市町村の区域をいいます。
B地域とは、火力・水力地点のうち、要対策重要電源または開発促進重要地点をその区域とする、市町村およびその周辺市町村の区域をいいます。
C地域とは、特定地域のうちA地域・B地域以外の地域をいいます。
核燃料サイクル地域についての面積当たりの単価は、A地域のそれに1.2を乗じて得た額（それぞれ9,000円 / m²、12,000円 / m²、15,000円 / m²）を用いるものとします。

イベントの紹介

十三回大野さくらまつり (福井県大野市)

四月三日から十八日まで、有終公園、亀山公園、義影公園の三カ所を会場として、第二十四回大野さくらまつりが開催されます。四月六・七日には、メイン会場の有終公園では、お祭り広場で花茶屋、紅白もちまき、フリーマーケット、お楽しみステージで太鼓、踊り、大道芸など、各種イベントが開催されます。また越前大野城がそびえる亀山公園では、期間中ほんぼりに明かりが灯り、夜桜の風情も味わえます。



問い合わせ先 / (社)大野市観光協会
電話0779-65-5521
ホームページURL: <http://www.hokuriku.ne.jp/ohno/>

全市能代風あげ大会 (秋田県能代市)

四月二十九日に能代港岸壁にて第三十七回全市能代風あげ大会が開催されます。伝統の「べらぼう風」をはじめ、市内外から多くの風愛好家が集まり、自慢の風と技を競い合います。第三十六回大会では、千五百人の参加がありました。能代風の由来は古く、坂上田村麻呂の蝦夷征伐の時、空高くあがった風を目印に能代港に入港したという伝説があります。江戸時代には町中で風あげに興じたこと



問い合わせ先 / 能代風保存会
(担当: 角谷)
電話0185-52-1856
ホームページURL: <http://www.city.noshiro.akita.jp/>

能代カップ (秋田県能代市)

五月三日から五日まで、能代市総合体育館を会場として、第十五回能代カップ高校選抜バスケットボール大会が開催されます。この大会は昭和六十三年、地元能代工業高校が全国大会で三十回目の優勝を目前にしたことを契機としてスタートしました。全国から有力チームが参加し、インターハイの前哨戦として全国のファンから注目されているビッグイベントです。



問い合わせ先 / 能代市バスケットボール協会
(事務局: 中田建設株内 担当: 梅田)
電話0185-52-3911
ホームページURL: <http://www.city.noshiro.akita.jp/>

やぶさめ祭り (静岡県富士宮市)

五月四日から六日にかけて、浅間大社にてやぶさめ祭りが開催されます。この祭りの起源は古く、源頼朝が富士の裾野で巻狩りを行った際、奉納したことに起因するといわれる古式ゆかしい行事です。五日の本祭には、午後三時から浅間大社境内の桜の馬場で、勇壮な小笠原流流鏑馬式が行われ、人馬一体となった見事な技が披露されます。



問い合わせ先 / 富士宮市観光経済部商工観光課 担当: 長田
電話0544-22-1155 (直通)
ホームページURL: <http://www.city.fujinomiya.shizuoka.jp/>